

(解答) 「砂漠で遭難したときにどうするか」

<判断のポイント>

自力で町まで歩く? その場で助けを待つ? (短期戦 or 長期戦)

専門家の見解では「助けを待つ」が妥当。飛行機が墜落して二時間以内に発見される確率は80%で、砂漠を110キロ歩くのは不可能である。脱水症状を防ぎながら、一か所で待つ方が助かる確率が高い。

【専門家の見解による優先順位と、その理由】

- 1位 化粧用の鏡: 鏡はかなり遠距離まで光が届き、捜索隊への信号になる。
- 2位 1人1着のコート: 太陽光線を肌に浴びさせないようにする。夜の寒さよけにもなる。
- 3位 1人につき1リットルの水: 生存には不可欠だが、捜索隊に発見してもらうことを最優先とする。
- 4位 懐中電灯: 夜の救助に光を使ってしらせる。
- 5位 パラシュート: 広げると空からの目印になる。
- 6位 ビニールの雨具: 砂嵐から身を守るため。
- 7位 45口径のピストル: 拳銃の音で知らせるため。仮に動物に襲われそうになったら射殺する。
- 8位 方位磁石: 町に向かうために必要だが、捜索隊に早期発見されるためには役に立たない。
- 9位 この地域の航空写真の地図: 平坦な砂漠は目印となるものがなく、現在地の特定が難しい。
- 10位 食用動物図鑑: 動物を捕まえるのは体力を消耗する。
- 11位 2リットルのウォッカ: ウォッカを飲むと余計に喉が渇き、脱水症状を促進してしまう。
- 12位 食塩: 塩を摂取すると血液濃度があがる。喉が渇き、脱水症状を促進してしまう。

品目	専門家の順位
懐中電灯	4
食塩	12
この地域の航空写真の地図	9
1人につき1リットルの水	3
ビニールの雨具	6
食用動物図鑑	10
方位磁石	8
1人1着のコート	2
45口径のピストル	7
化粧用の鏡	1
パラシュート	5
2リットルのウォッカ	11